

東京湾海況情報 28-10

東京湾水質調査結果（平成29年1月）

（平成29年1月26日発行）

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 1/6：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）
関東・東海海況速報（1/6）、東京湾口海況図（1/6）
モニタリングポスト（1/6：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）

【水温・塩分の状況】

内湾の表層水温は10～12℃台で、船橋沖で平年並み、その他では1℃ほど高くなっています。塩分はおおむね31～32PSU台で、平年よりやや高めです（図1）。

内房海域の表層水温は北部で13℃台が見られるものの、多くは14～15℃台です。塩分は33～34PSU台で、ほぼ平年並みです。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布では、内湾中央付近の底層に14℃台の水温が波及し、そこでは塩分が34PSU台です（図3）。

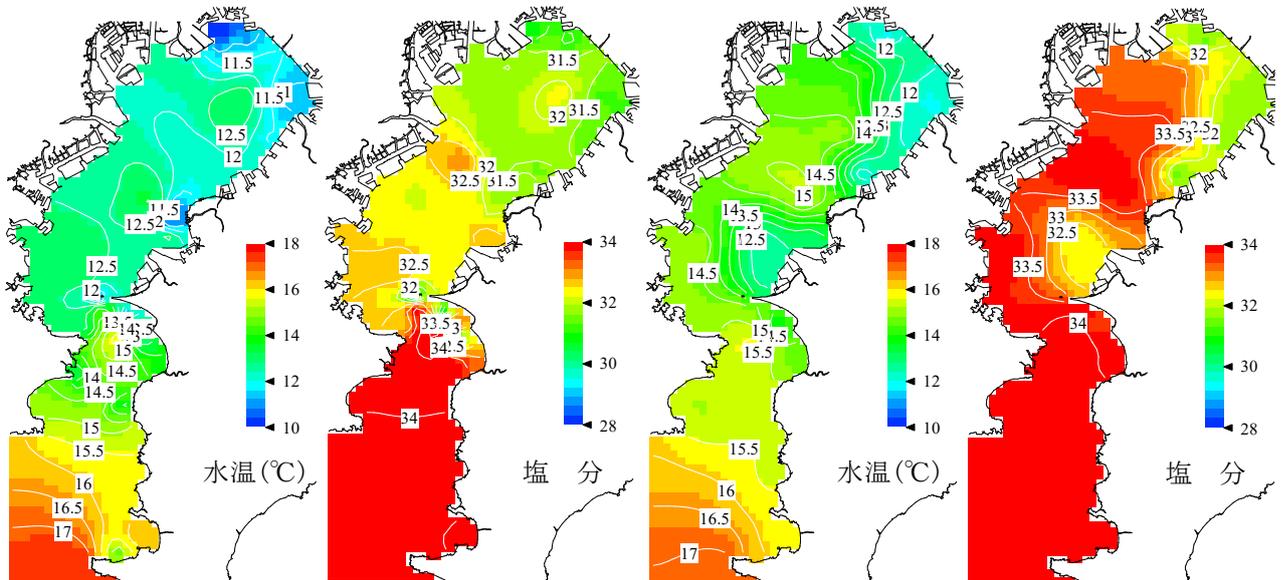


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

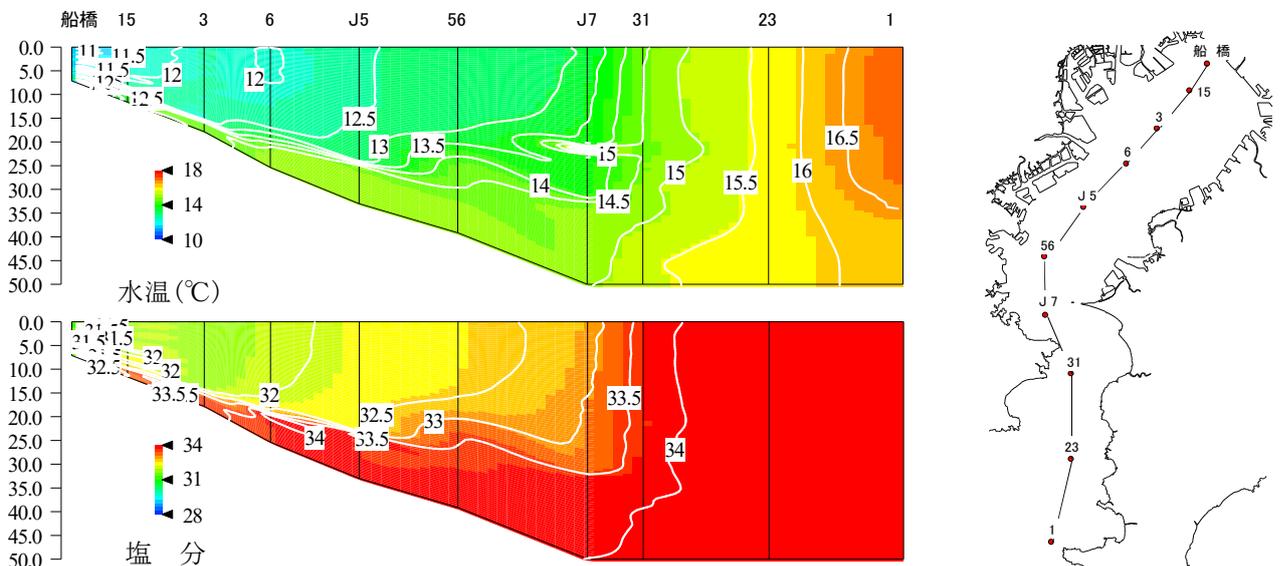


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布（上：水温、下：塩分、右：調査ライン）

【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していません。プランクトンは少なく、スケルトネマなど小型のケイ藻類が優先していました。透明度はおおむね4m以上あり、水色はほぼ黄緑色です。

保田から富浦の周辺海域ではケイ藻類がわずかにみられる程度で、いずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。
色 : オリーブ～褐色
酸素飽和度 : 150%以上
透明度 : 1.5m以下
pH : 8.5以上
クロロフィルa : 50 $\mu\text{g/L}$ 以上

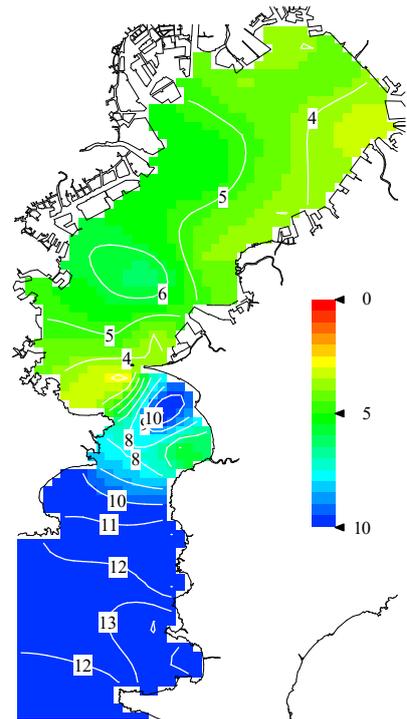


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量は4ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません(図5, 6)。

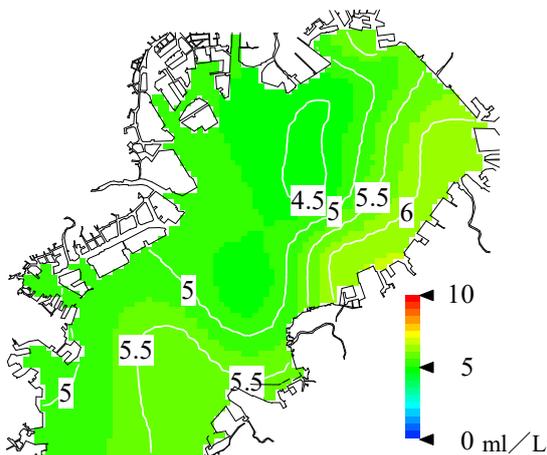


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

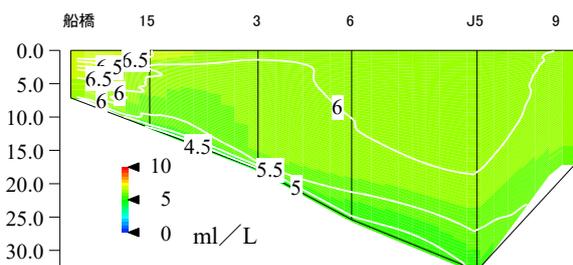


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン($\text{PO}_4\text{-P}$)ともにほぼ平年並みです(図7)。

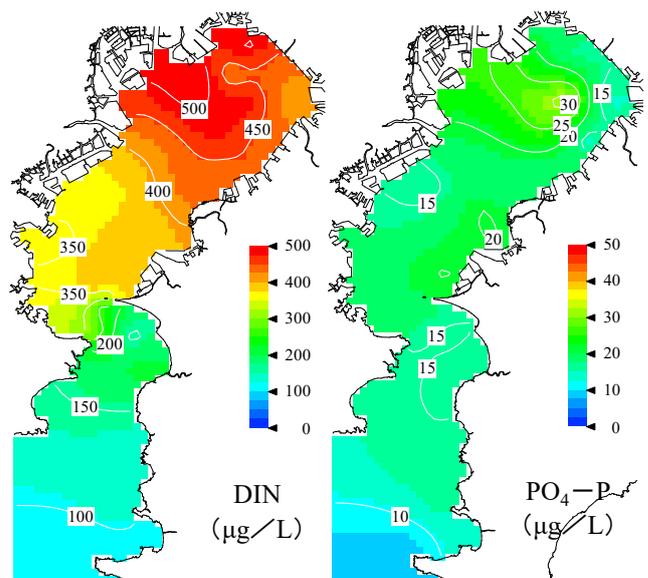


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

B型流路 黒潮は八丈島と三宅島の間を通過後、房総沖を小さく蛇行しながら東北東へ流れています。房総沖でみられている黒潮からの暖水波及は継続するものと思われます(図8)。

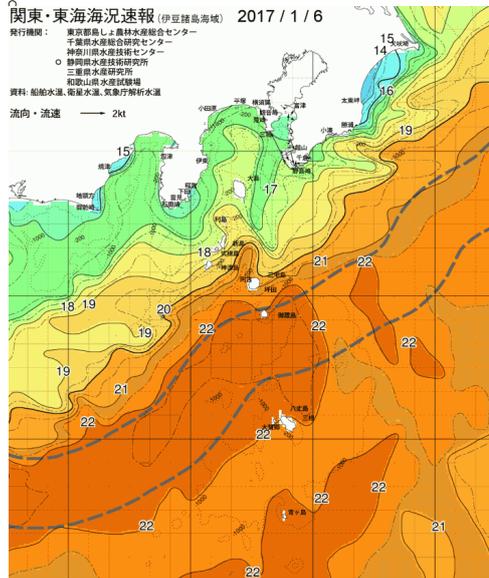


図8 黒潮の動き (平成29年1月6日)

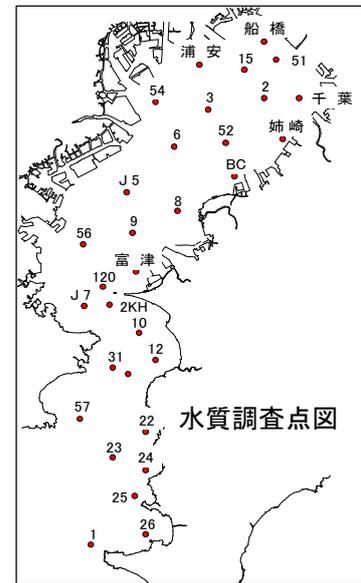


表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2006~2015年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	10.8 (9.9)	30.88 (30.64)	4.0 (2.7)	8.2 (8.4)	5.8 (6.6)	52 (58)	506 (555)	17 (21)
	st.15	11.5 (10.2)	31.72 (30.82)	4.3 (3.6)	8.2 (8.4)	4.6 (5.9)	47 (47)	433 (506)	22 (21)
	st.3	12.1 (10.7)	31.68 (30.82)	5.0 (3.8)	8.2 (8.3)	4.5 (5.5)	57 (69)	491 (591)	24 (23)
	st.6	12.0 (10.9)	31.84 (31.38)	5.6 (4.9)	8.2 (8.3)	4.8 (5.3)	29 (38)	422 (474)	18 (19)
	st.9	12.5 (11.2)	32.20 (31.61)	6.5 (5.4)	8.2 (8.3)	5.7 (5.7)	28 (37)	379 (443)	18 (20)
	st.BC (盤洲Cブイ)	11.8 (11.6)	31.44 (31.31)	4.0 (4.0)	8.2 (8.3)	6.0 (5.7)	49 (38)	434 (473)	16 (18)
	st.8 (盤洲A南)	12.3 (11.2)	32.13 (31.59)	4.2 (4.4)	8.2 (8.3)	4.6 (5.4)	53 (27)	397 (426)	20 (18)
	富津	12.3 (11.6)	32.23 (31.63)	4.0 (5.2)	8.2 (8.3)	5.7 (5.7)	47 (33)	383 (395)	20 (20)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	13.4 (12.3)	33.27 (32.93)	3.0 (6.4)	(8.3)		12 (22)	241 (294)	17 (18)
	st.31	14.5 (13.7)	33.73 (33.30)	8.0 (9.9)	(8.2)		0 (10)	174 (219)	15 (16)
	st.23	15.7 (15.9)	34.32 (34.29)	12.0 (17.7)	(8.2)		0 (5)	118 (104)	15 (13)
	st.1	16.9 (16.2)	34.42 (34.40)	12.0 (18.0)	(8.2)		0 (8)	82 (92)	6 (12)
	st.10 (下洲沖)	15.0 (13.3)	34.07 (33.51)	11.0 (8.2)	(8.2)		0 (12)	147 (229)	15 (19)
	st.12 (湊沖)	14.0 (12.8)	33.65 (33.37)	6.0 (8.0)	(8.2)		3 (9)	191 (194)	15 (15)
	st.22 (保田沖)	15.3 (15.5)	34.23 (34.08)	12.0 (15.0)	(8.2)		0 (7)	125 (114)	15 (14)
	st.24 (富山沖)	15.6 (16.1)	34.33 (34.19)	11.0 (18.0)	(8.2)		0 (6)	117 (95)	14 (12)
	st.26 (館山湾内)	16.2 (15.9)	34.53 (34.36)	14.0 (17.4)	(8.2)		0 (6)	94 (90)	11 (12)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。